

変更契約の調書

工 事 名 南陽市公共下水道 污水管渠工事(第2工区)

当初

工 事 場 所 南陽市 若狭郷屋 地内
請 負 業 者 名 株式会社大建工業
工 事 種 別 土木一式工事
工 事 概 要 污水管渠工 管路施設延長 L=300.50m

契 約 金 額 52,800,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)
工 期 着工 令和6年6月5日
完成 令和6年12月10日

第1回変更

変 更 年 月 日 令和6年12月3日
契約金額(変更後) 54,155,200円 (消費税及び地方消費税を含む。)
工 期 完成 令和6年12月10日
変 更 理 由

1. 管きょ工(土工)

発生土処理について、運搬距離を7.0kmで計上していたが、受注者選定の処分地が1.8kmの箇所であったため、運搬距離を変更し実施したい。

	当初	変更
ダンプトラック運搬工(下水道土工)	L=7.0km	L=1.8km
ダンプトラック運搬工(一般土工)	L=7.0km	L=1.8km

2. 管きょ工(開削水替工)

133-2・146-1・146-4路線において、当初の設計では開削水替を作業時排水(2インチポンプ1台)で計画していたが、地下水位が高く本管布設が施工困難であったことから、施工可能となるよう4インチポンプ2台を稼働して水替し、かつ水替対象工種を下水道掘削から土留め引抜き工までに変更し実施したい。

また、地下水量も非常に多く、ポンプ非稼働時に布設した本管が浸水してしまうこと、管理設用保護砂が流出してしまうことから、作業時排水から常時排水に変更実施したい。

	当初	変更
133-2・146-1・146-4路線		
作業時排水(2インチポンプ1台)	N= 1式	N= 0式 (N= 1式 減)
水替日数(砂基礎工～保護砂埋戻工)	N= 7日	N= 0日 (N= 7日 減)
常時排水(4インチポンプ2台)	N= -式	N= 1式 (N= 1式 増)
水替日数(下水道掘削～土留引抜き工)	N= ー日	N=29日 (N=29日 増)

3. 管きょ工(推進工法)

145路線の推進工法箇所において、新設マンホール及び発進立坑が水道管と干渉することが判明したことから、水道管との離隔を確保するため、次期工事の法線を変更し、発進立坑を到達側と置き換え水道管に接触しない設計に変更し実施したい。

	当初	変更
146-1路線		
管渠工(φ200mm)	L=47.50m	L=48.00m (L=0.50m 増)
145路線		
推進工(φ200mm)	L=7.00m	L=7.00m (増減なし)

4. 付帯工(舗装復旧工、舗装撤去工)

当初の設計では、歩道部及び車両乗り入れ部の舗装仮復旧(再生密粒度AS13)を計画していたが、舗装仮復旧後も車両交通が多くは認められないため、道路管理者と再度調整を行った結果から、舗装仮復旧をせずに舗装本復旧を行う設計に変更し実施したい。

当初 変更

133-2・146-1路線

表層工(再生密粒度AS13) A=94.3m² A=0.0m² (A=94.3m² 減)

舗装版破碎(t=3cm) A=89.8m² A=0.0m² (A=89.8m² 減)

5. 付帯工(構造物撤去工)

133-2・146-1・132路線において、埋設(残置)されていた構造物が施工の支障となったことから、構造物取壊しを変更実施したい。

また、146-1路線において、施工に伴い既設側溝に沈下が生じたことから、既設側溝の撤去再設置を変更実施したい。

当初 変更

133-2路線

構造物取壊し(重力式擁壁) V= - m³ V=1.70m³ (V=1.70m³ 増)

構造物取壊し(L型擁壁) V= - m³ V=2.93m³ (V=2.93m³ 増)

構造物取壊し(擁壁基礎) V= - m³ V=1.91m³ (V=1.91m³ 増)

146-1路線

構造物取壊し(埋設水路) V= - m³ V=2.09m³ (V=2.09m³ 増)

構造物取壊し(コンクリート) V= - m³ V=0.68m³ (V=0.68m³ 増)

既設側溝(400×400)撤去再設置 L= - m L=50.09m (L=50.09m 増)

132路線

構造物取壊し(L型擁壁) V= - m³ V=1.62m³ (V=1.62m³ 増)

6. 仮設工

当初の設計では交通誘導警備員を132名(2名体制)計上していたが、133-2・146-1・132路線において、車両交通量が非常に多く、沿線の営業店舗への車両侵入の際に頻繁に渋滞が発生することから、渋滞緩和と事故防止のため交通誘導員を3名体制に増やし、安全管理に万全を期して実施したい。

当初 変更

交通管理工(交通誘導警備員B) N=132名 N=202名 (N=70名 増)

7. その他、現地に適合するような軽微な変更を実施したい。